



1 明北小『明科北・南認定こども園職員 授業参観及び懇談』 6月24日(水)



明北オープン DAY が実施された日に合わせて、北園と南園の先生方をお招きし、全学年自由参観及び職員懇談を行いました。通常は、園小連絡会の折、年長の担任が卒園した1年生を参観する機会しかないのですが、園の先生方の「全学年参観できる機会があると有り難い」という声をお聞きし、TOCO-TON が開始された昨年度から実施しています。子どもたちの成長の様子を見ていただくだけでなく、園から小への接続、園との交流活動、職員間のつながり等を検討する上でも、貴重な機会になっています。

研究主任から「取組の概要説明」、現5年担任から「総合的な学習の時間（地域・個人探究）の実践発表」をした後、園・小の職員で懇談をしました。

<懇談での園職員の発言から>

- 1・2年生がプールを終えて、廊下を歩いている6年生とすれ違うと、自然とお互いに声をかけ合っていた。仲がいいんだと思った。
- 少人数であることや縦割り活動を積極的に行っていることで、皆が友だちという雰囲気がとてもよい。この先も、一人ぼっちにならない、いっぱい友だちがいる、色々な人と関わる環境が整えられている。
- プールの壁画や手形アートなどの取り組みについてお聞きし、みんなで集まって何かを作ってきた園での経験が、小学校につながっていると感じた。
- 園でも、子どもたちが物事を納得した上でやっている。子ども自らが決めていくことを大切にしている。
- 昨年度、家庭科の授業で6年生が交流をしに来てくれた。大人とも違う、卒園した子ども違う年代との関わり。そのお礼に手紙を渡したいという声が上がった。明北小コンサートに誘ってもらった時に、手紙を渡す場を設定してもらった。実りある交流となった。
- 園で自然の循環を意識した活動をしている。種では栽培できない椎茸に興味をもっている子がいる。今度、椎茸の原木を見に行きたい。来年度以降、椎茸のコマ打ちや食べる場所にも参加したい。
- こども園と小学校の実践でつながっているものがたくさんある。地域で関わっている人も共通している。お互いの実践を聞くと、職員も嬉しく感じる。子どもたちの交流もそうだが、職員同士の実践交流をする機会もたくさんつくってほしい。

2 明北小・明南小金管バンド部『明科あやめ祭り合同演奏』

(1)あやめ祭り合同演奏に向けた代表児童による打合せ（休み時間）



初回6月16日(火)

20日(土)、あやめ公園で披露する合同演奏に向けて、2校の金管バンド部代表者が、Meetでオンラインミーティングを行いました。

明南小演奏⇒明北小演奏⇒2校合同演奏の順で発表し、合同で演奏する曲は「銀河鉄道999」です。事前ミーティングは計3回行い、合同演奏曲の紹介をどの様に行うか相談しました。「ボケとツッコミ」がある楽しい曲紹介を目指し、話す内容や役割分担を決めていきました。

(2)あやめ祭り合同演奏 6月20日(土)



(3)代表児童ふりかえり

- ・明南小の部長さんたちと、ミートでセリフを決める話し合いをしてみて、最初は緊張して話がなかなか進まなかったけど、3回目にはたくさん話が進んでよかった。
- ・本番は、合同演奏で迫力が増して、演奏もうまくってよかった。でも、もっと音をそろえたいと思った。今度は、もっと早く集まって練習したい。
- ・セリフは、明北と明南の皆で「てへっ」と言うところがそろっていたけど、（外だったので）観客の人には聞こえていなかった。もっと大きな声で言えるように練習したらよかったと思う。

(4)明北小金管バンド部おたよりから

あやめ祭りも、暑い中よく頑張りました。明南小との合同ステージに向けて、正副部長が明南小と3回のオンラインミーティングを行い、せりふを考えてくれました。合同で練習するのは当日だけなので、思うようにいかない部分もあったかもしれません。しかし、明南小の演奏から学ぶことや、いつも以上に迫力のある「銀河鉄道999」を演奏できる良さも大切にしていきたいですね。